

第2回 SC サテライト放送株式会社 番組審議委員会 議事録

1. 開催日時： 平成 26 年 12 月 5 日（金）13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所： リバーゲート 11 階
3. 審議委員出席者：
出席委員 7 名
出席委員の氏名 音好宏氏（委員長）、入江たのし氏、五井千鶴子氏、棚橋節子氏、
桧山珠美氏、細川幸一氏、万場徹氏

4. 事業者側出席者：

SC サテライト放送株式会社

代表取締役社長 八木直久
取締役 佐々木良太
取締役 上原宏一
監査役 吉岡徹郎

ジュピターショップチャンネル株式会社

執行役員／プランニング&プログラミング本部 副本部長 増田美智代
プログラミング部 部長 尾崎由生子

日本テレビ放送網株式会社

事業局次長(兼)有料放送事業部長 柴田哲志
事業局有料放送事業部 担当部次長 齋藤 光
報道局マルチニュース制作部 担当副部長
「日テレNEWS 24」 担当プロデューサー 藤井潤

5. 番組審議

(1) SC サテライト放送株式会社で放送するチャンネルの審議

① 「ショップチャンネル」(055c h)

- a. 審議番組：「日本を見つけよう！ 静岡のご当地うまいもの特集」
- b. 放送日時： 2014 年 10 月 9 日（木） 10:00～11:00
- c. 番組概要： 日本各地の逸品を、商品を育んだ歴史・文化とともにご紹介するご当地企画番組。今回は、静岡県を特集し、当日は、静岡県富士宮市の富山本宮浅間大社より生中継を実施。

<審議委員意見ならびに事業者側回答>

番組のオープニングで、大空の下、浅間神社のお神楽からの映像があり、通常のスタジオでの番組と雰囲気が異なっておりよいと思った。

視聴者の方へ、生中継の醍醐味を感じていただくために、2008年より生中継をスタートし、以降は年2回のペースで各地より中継を行っている。

番組では、オープニングで各地の伝統芸能等をご紹介します、各地の県知事や市長にもご挨拶を頂戴しながら、各地の名産品をご紹介します。

日本各地からの中継ということで、地元放送局との具体的な連携とは？

地元ケーブル局様、地方民放局様との取り組みとして、各局でのサイマル放送もさることながら、中継場所のご手配・各地の名産品のご紹介、知事等のご出演依頼等、様々な面でご協力をいただいている。

番組内で紹介された、初登場のやわらか干し芋のような地元ならではの、かつ全国に流通されていない商品をさらに発掘してほしいと思った。

やわらか干し芋は、今回の静岡中継にあたり、実際に現地に足を運んだ結果、発掘できたものである。中継が契機となり希少価値の高い商品をご紹介します非常に良い事例であった。今後もこのような商品を増やしていきたい。

今回、浅間神社からの中継であったが、神社・仏閣で、立ったままで食事をするというのは、いかなるものか。と個人的に感じた。せめて全身を映さず、足は隠す等の配慮が必要では？

中継であるため、カメラの位置、台数制限等もあるが、映し方次第で工夫できる部分もあると思うので、今後は検討していきたい。

番組内で、賞味期限は冷凍●日間との紹介があった。配送方法が冷凍なのか冷蔵なのか案内をした方がよいのでは。また、お召し上がり方のレパトリーをより多くした方が、視聴者にとって商品が身近になるのでは。

視聴者の方より、配送方法に関するお問い合わせ多々あるので、しっかり伝えていきたい。また、レパトリーは、中継場所では水回りの問題もあり、紹介例に限りがあるが、VTRでご紹介する等の方法もあるので、取り入れていきたい。

今後、食品の表示基準の変更や、健康食品の機能性表示が一部可能となる等、様々な制度上の変更がある。引き続き、情報収集に努めるとともに、必要な情報は、画面に表示する、番組内でコメントする等の方法で案内することが肝要であろう。

お買い上げいただく前に、提供すべき情報は、画面の左のグラフィック部分や、フリップでの紹介を行い、また詳細情報は、当社ホームページでご紹介する等、当社が保有するさまざまな媒体を活用していきたい。

普段のスタジオでの番組では気にならないが、中継となると左端のグラフィックに黒みがあるのが気になる。

4:3 で視聴している方への配慮のためだと思うが、空きがあるようにみえてしまう。

ご指摘のとおり、中継放送時は通常の番組と比較し、左端の黒味が目立っている。来年 4 月以降、画角を調整するので、この事象は解消される見込み。

②「日テレNEWS24」(349 c h)

- a. 審議番組：「まーけっと Navi」および「ブレーキング」
- b. 放送日時：2014 年 10 月 6 日(月) 9:00~9:30 および 10 月 7 日(火) 14:00~14:30
- c. 番組概要：「まーけっと Navi」では、東京証券取引所の「寄りつき」を速報するほか、アナリストが今後の市場動向を詳しく解説。「ブレーキング」では、「ひまわり 8 号」を載せた H 2 A ロケットが打ち上げの瞬間をお届け。

<審議委員意見ならびに事業者側回答>

内容が多岐にわたりすぎていて、N24 としての強みが整理し切れていないように感じた。

N24 の強みとは。

N24 は、災害情報・放送に重きを置いている。災害では二次災害も発生するため、即時性を重視し、避難の呼びかけを行うことが、メディアの使命だと意識している。

まーけっと Navi の司会者、ゲストともに左下に視線を送ることが多く、気になった。また画面下のニュースタイトルと、テロップが同時に掲出されると見づらい。

その位置には、円と株の東証ボードが映っている。モニター位置を変更する等、改善したい。また、L 字テロップは文字のサイズ等も含め、あり方に苦心しており、設備更新時、改めて検討したい。

昨今、ネット通販詐欺横行しているため、ぜひ番組内で取り上げてほしい。

日々、様々なニュースが起こっており、プライオリティの問題で啓発番組を取り上げる機会が少ないのが現状であるが、地上波で扱われることの少ないニュースをぜひ日テレ NEWS 4 にて取り上げたい。

画面下に流れている字幕のニュースの内容が、放送されているニュースの内容とあまりにかけ離れてるののが気になる。放送中のニュースをフォローする内容にははらないのか。

視聴者の中に多く存在する「ながら見」の方向けにニュースを提供する目的で常時字幕を出している。

CNN、BBC といった海外のチャンネルにおいても、放送とテロップを用い、二重の情報提供をしており、当社でも同様の形式をとっている。

番組内でこれから放送するニュースラインナップなるものがあつた方がよいのでは。また、マーケット N a v i での解説時、専門用語が多発したが、文字での説明があるとわかりやすいと感じた。

現在、ニュースラインナップは、1 時間に 1 度、正時に掲出されているが、視聴者より頻繁にラインナップを見たいとの意見もあり、4 月以降のタイムテーブルを修正することを検討したい。また、頻出する専門用語は、スーパーを入れる等、検討していきたい。

常時、L 字テロップが出ており、落ち着かないと感じた。

画面下のテロップでニュースが流れていたが、これから放送するニュースのラインナップを入れてはどうか。

L 字では、時間・天気・円と株の動き・ニュースを掲出している。

放送予定のニュースのラインナップを流すのは、有効であり、また視聴者からの要望もあるので、取り入れることを検討したい。

視聴者が画面を見たときに、同一フォーマットである方が、この画面は、「日テレ NEWS24 だ。」と、瞬時に判別できるのでは？またチャンネルブランドがはっきりしていたほうが視聴者の定着が図れるのではないかと。

チャンネルブランドの確立については、悩むところである。経済のみならず、災害、ブレイキング等、マルチ編成を行っていると、チャンネルのカラーが見えづらくなってしまう。

また、ご指摘の通り、フォーマットを統一しないと視聴者へなかなか浸透しないため、今後、チャンネルブランドとあわせて模索していきたい。

6. その他

審議会の冒頭に、ジュピターショップチャンネル株式会社執行役員／プランニング&プログラミング本部 副本部長 増田美智代氏より、経済産業省が実施する「平成 26 年度 第 8 回 製品安全対策有料企業表彰」（※）の「大企業小売販売事業者部門」において、「優良賞」を受賞した旨の報告があつた。

「ショップチャンネル」が持つ 3 つの強みである「商品力」、「番組力」、「オペレーション力」のうち、改めて「商品力」が評価されたことを受け、引き続き商品安全の向上に積極的に取り組みたいとの旨の発言があった。

(※)

当該表彰は、2007 年より経済産業省が開始した、製品安全に積極的に取り組んでいる小売販売事業者、製造事業者、輸入事業者等を対象に厳正なる審査の上、表彰するものであり、各企業の製造・輸入・販売している製品自体の安全性についての評価ではなく、企業全体の製品安全活動が評価された企業が賞を受賞している。